

2018 年 3 月 6 日

BMW グループ ヨーロッパにおける量販車の CO2 排出量をさらに削減

- **平均 CO2 排出量を 122g/km に低減**
- **1995 年以来 42%以上の削減を達成**
- **フル電気駆動の BMW i4 をミュンヘンで生産**

ミュンヘン発：

BMW グループは 2017 年、ヨーロッパ(EU-28)における新車量販車の平均 CO2 排出量を 122g/km まで低減した。これは前年と比較してさらに 2g/km のカットとなる(2016 年: 124g/km)。これにより、BMW グループはヨーロッパにおける量販車の CO2 排出量を継続的に減らし続け、1995 年以降で平均 CO2 排出量を 42%以上削減できたことになる。

BMW AG 取締役会会長のハラルド・クルーガーは、「この進歩は、当社の e モビリティ戦略が成果を上げていることを示しています。私たちは電気駆動の量販車の拡大を徹底して推し進めています。同時に、従来の駆動技術でも引き続き燃料を節約する革新技術に取り組んでいます」と述べている。

すでに 2017 年の時点で、BMW グループは電気駆動車を 10 万台以上販売している。ヨーロッパにおける電気駆動車(BEV + PHEV)の新規登録では BMW グループが 21%を占め、まさにリーディング・プロバイダーとしての地歩を固めており、電気駆動車のセグメントにおいて BMW グループは在来駆動方式のモデルの場合より 3 倍高い市場占有率を達成している。

クルーガーは、「2025 年までに当社は全世界で 25 種類の電気駆動モデルを投入する予定です。2017 年にはフランクフルト・モーターショー(IAA)で BMW iVision Dynamics を発表し、私たちが思い描く e モビリティの未来を示しました。そのクルマが現実となります。私たちはこれを BMW i4 としてミュンヘンで生産することになります」と語った。